

<http://java-house.jp/ml/archive/j-h-b/024682.html#body>

抜粋

Java IMF では「IM を On/Off する」という概念はありません。

(中略)

言語を日本語に切り替えれば日本語 IM が On になるし、  
中国語に切り替えれば中国語 IM が On になるという考え方です。英語を選択すれば IM は Off になるわけです。

それならば、Windows 上の Java2 で

`InputContext#selectInputMethod(Locale.JAPANESE)`

とやれば IM が On になってくれても良さそうですが、そうはなりません。

これは Windows での IMF の実装上の問題です。On/Off の概念のない Java IMF の仕組みの下で、Windows の元々持っている On/Off の仕組みが動いてしまっているということです。

もうひとつ、`InputContext#setCharacterSubsets` についてですが、これは高橋さんが説明されたとおり、いわゆる「入力モード」の指定という API ではありません。この API の正しい意味合いは

「アプリケーションが、この `InputContext` でユーザーに入力させたい  
文字の種類を `InputMethod` に通知する」

というものです。これはあくまでアプリケーション側の要望通知に過ぎないのであって、その要望をどのように実現するかは IM に任されています。つまり何も変わらない場合もあるということです。

日本語 Windows 版の Java2 では、高橋さんの示されたようなコードで IM が On になりますが、これは Windows 版の Java IMF の実装コードが「`InputSubset.KANJI` が最も入力しやすい状態」は「IM が On になった状態」であるという判断の元にきちんと実装されているからです。  
ちなみに、Solaris 版では残念ながら何も起こらないはずですが。